

● 地域提案型

平成20年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	広州市における衛生検査技術及び保健情報の活用能力の向上
3. 事業の背景と必要性	中国・広東省では、SARS（重症急性呼吸器症候群）の発生や鳥インフルエンザによるヒト感染例が過去に報告されており、感染症予防対策が急務となっている。また、広州市疾病予防コントロールセンター（広州市CDC）は、感染症予防のみならず、食品の安全性確保に対処するための技術協力を希望しており、広州市CDCにおける住民に対する感染症予防、食品の安全・安心に関する公衆衛生活動の推進は現地住民の健康、生活向上のために不可欠である。
4. 事業の目的	広州市民の感染症予防、食品の安全・安心に関する公衆衛生意識が向上し、衛生環境の改善を図ることを目的とする。
5. 対象地域	中華人民共和国広東省広州市疾病予防コントロールセンター（広州市CDC）
6. 受益者層	広州市CDC職員（人数規模：320名程度）
7. 活動及び期待される成果	<p>(1) 広州市CDCの病原体の検索技術や食品の安全性に関する検査技術が向上する。</p> <p>(2) 広州市CDCの感染症発生情報、感染症検査情報及びそれらの関連情報を組み合わせて行政機関に科学的根拠を持って政策提言できる能力が向上する。</p> <p>(3) 広州市CDCの住民への保健教育、啓発活動ができる能力が向上し、住民への保健教育、啓発活動を通して、住民の公衆衛生に関する知識の向上、改善に繋がる。</p>
8. 実施期間	平成21年10月～平成24年3月
9. 事業の実施体制	福岡県保健環境研究所が実施機関となり、広州市CDCの研究員を受け入れ、感染症予防のためのウイルス、細菌、食品の検査技術の移転及び疫学情報解析の能力強化並びに福岡県における感染症及び食品監視等の行政体制について研修する。また、福岡県保健環境研究所から広州市CDCに専門家を派遣し、現地における検査技術の活用、保健教育・啓発活動を支援することにより、住民における公衆衛生意識の向上、衛生環境の改善を目指す。
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体）	福岡県保健環境研究所（福岡県）
2. 対象国との関係、協力実績	平成17年から3年間、中国広州市院内感染対策プロジェクトにおいて、広州市CDCにおける病原体の検索技術の向上に寄与するために広州市CDCの研究員2名を受け入れ、ウイルス及び細菌検査の研修を実施した。また、SARS発症の防疫を経験した広州市CDCの関係者を公衆衛生行政研修の一環として保環研に迎え、SARSの学術交流を行った。さらに、福岡県保健環境研究所の職員をJICA短期専門家として広州市CDCに派遣し、ウイルス、細菌、疫学及び人材育成の技術指導、情報交換を行った。